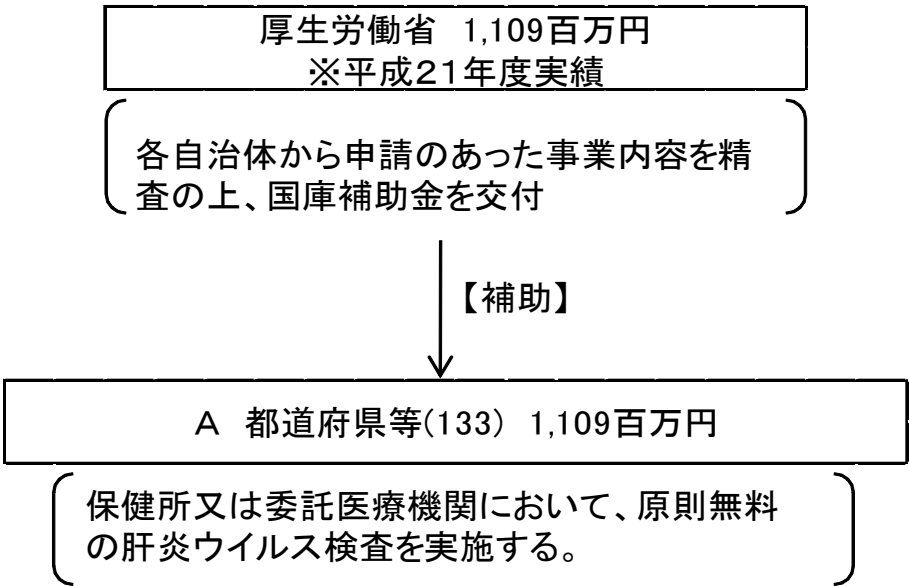


平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)										
事業名		肝炎ウイルス検査等事業費			担当部局庁		健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成14年度			担当課室		疾病対策課肝炎対策推進室		肝炎対策推進室 神ノ田昌博	
会計区分		一般会計			施策名		4-3-4 感染症の発生・まんを延防止する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		肝炎対策基本法 第11条、第12条			関係する計画、通知等		「特定感染症検査等事業について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		肝炎治療については早期発見が重要であるが、B型肝炎・C型肝炎合わせて300万人を超えると推計されている、我が国の肝炎の持続感染者数の大部分は、自分が感染していることを知らないという現状がある。このため、保健所や委託医療機関において、受診者の利便性に配慮した肝炎ウイルス検査を実施することにより、感染の早期発見を促進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		都道府県等が、保健所や委託医療機関において、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査を原則無料で実施できるよう補助を行うものである。また、検査時に行われる肝炎ウイルスに関する相談事業に対しても補助を行うものである。 補助率: 都道府県、保健所設置市、特別区 1／2								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位: 百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	1,765	1,722	1,720	1,653	1,653		
			補正予算	1,588						
			繰越し等							
			計	1,588	1,722	1,720	1,653	1,653		
		執行額		1,348	1,109	1,208				
		執行率 (%)		85%	64%	70%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		肝炎対策基本指針に基づき、種々の目標設定に資する調査及び研究を行うこととしており、この成果等を踏まえて検討する予定。			成果実績	—	—	—	—	—
					達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		肝炎ウイルス検査件数(B型)			活動実績 (当初見込み)	件	456,727	355,725	集計中	—
							—	—	—	—
		肝炎ウイルス検査件数(C型)			活動実績 (当初見込み)	件	456,926	359,109	集計中	—
—	—						—	—		
単位当たり コスト		(3千円／件)			算出根拠	3千円＝1,109,000千円／{(355,725件+359,109件)／2} (肝炎ウイルス検査実績額／検査件数)				
平成 2 3 ・ 2 4 年 度 予 算 内 訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	検査事業費		1,486	1,486						
	相談事業費		167	167						
	計		1,653	1,653						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・ 状況・ 予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	検査実績が当初の見込みを下回る理由については各自治体の事情によると考えており、必要に応じて詳細な理由について把握するよう努めることとする。
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	△	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 使途、 費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・ 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		肝炎対策基本指針では、国民全員が1回は肝炎ウイルス検査を受けることができるよう取り組むこととされていることから、当該事業の一層の周知を図り、1人でも多くの国民が肝炎ウイルス検査を受けられるよう、引き続き実施する。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状 通り		肝炎対策基本法に基づく必要な事業であるため、事業内容を精査し、必要な予算措置を行うこと。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
事業の実施状況を把握し、肝炎対策基本法の趣旨を実現するために必要な予算要求を行っている。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.札幌市			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	医療機関検査委託	215			
計		215	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	札幌市	委託医療機関において、無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	215		
2	大阪府	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	116		
3	さいたま市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	77		
4	広島市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	77		
5	横浜市	委託医療機関において、無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	59		
6	名古屋市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	49		
7	山口県	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	47		
8	川崎市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	43		
9	福岡市	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	42		
10	東京都	保健所又は委託医療機関において、原則無料の肝炎ウイルス検査を実施する。	40		